

令和4年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「日本史A」 (山川出版社)						
副教材等	図説日本史通覧 (帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・歴史という時間軸を感じる。
- ・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
- ・日本近現代の歴史を世界史的な観点から把握し、現在と将来の日本のあり方を考える。

2 学習の到達目標

- ・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
- ・現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史的観点から考察することができる。
- ・日本の歴史を東アジアや世界の諸国の動きと関連づけて理解できる視野の広さを養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、主体的に物事を考えることができるようになる。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の動きもふまえ、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本近現代史の諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本近現代史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の動きを関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	ワークシート レポート 主題学習 振り返りシート	定期考査 ワークシート 主題学習 レポート	定期考査 ワークシート 主題学習 レポート	定期考査 主題学習 内容のまとめ

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	第1章 開国と明治維新	1 アジアの激動と日本の開国 2 江戸幕府の滅亡 3 明治維新 4 富国強兵 5 明治初期の外交 6 殖産興業と文明開化	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 幕末から明治維新时期について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 幕末から明治維新时期の出来事を世界の動きと関連付けて多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現する。 c: 必要な諸資料を収集し有用な情報を読み取り図表にする。 d: 明治維新とその後の政策について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	第2章 立憲国家の成立	1 自由民権運動 2 立憲制の成立 3 立憲政治の展開 4 日清・日露戦争 5 産業革命と社会の変容 6 明治の文化	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 立憲国家の成立・展開と日清・日露戦争について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 立憲国家成立期から日露戦争後までの出来事を世界の動きと関連付けて多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現する。 c: 必要な諸資料を収集し有用な情報を読み取り図表にする。 d: 立憲国家成立期から日露戦争後までの政策について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	第3章 第一次世界大戦と日本	1 政党政治の展開 2 ワシントン体制 3 経済・社会の変容 4 市民文化	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 第一次世界大戦や戦後の国際秩序について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 第一次世界大戦前後の出来事を国際関係と関連付けて多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現する。 c: 必要な諸資料を収集し有用な情報を読み取り図表にする。 d: 政党政治の展開や経済・社会の変容について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

※令和3年度以前入学生用

一学期	第4章 昭和恐慌と満州事変	1 恐慌の時代 2 政党内閣期の内政と外交 3 軍部の台頭	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 大正期の社会が恐慌の時代を経てどう変化し軍部の台頭を招いたのかについて関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 昭和初期の出来事を国際社会と関連付けて多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現する。 c: 必要な諸資料を収集し有用な情報を読み取り図表にする。 d: 政党政治の成立と崩壊の過程について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	第5章 第二次世界大戦と日本	1 日中戦争 2 重化学工業と統制経済 3 第二次世界大戦と太平洋戦争	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 日中戦争と太平洋戦争について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。: b: 第二次世界大戦と日本を関連付けて多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現する。 c: 必要な諸資料を収集し有用な情報を読み取り図表にする。 d: 日中戦争から太平洋戦争に至る過程について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
三学期	第6章 占領下の日本	1 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 占領期から講和までの出来事について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 第二次世界大戦後の世界と日本を関連付けて多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現する。 c: 必要な諸資料を収集し有用な情報を読み取り図表にする。 d: 占領政策から講和に至る過程について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

※令和3年度以前入学生用

	第7章 経済繁栄と保守長期政権	1 55年体制 2 高度経済成長期の経済と社会	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	a: 55年体制の成立期から高度経済成長期について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 冷戦期の世界と日本を関連付けて多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現する。 c: 必要な諸資料を収集し有用な情報を読み取り図表にする。 d: 冷戦期の日本の政策について理解し、その知識を身につけている。	
	第8章 現代の世界と日本	1 冷戦の終結と日本 2 日本社会の変容	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	a: 冷戦終結後の日本について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 冷戦終結後の世界と日本を関連付けて多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現する。 c: 必要な諸資料を収集し有用な情報を読み取り図表にする。 d: 冷戦終結後の日本社会の変容について理解し、その知識を身につけている。	

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
 c: 資料活用の技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。